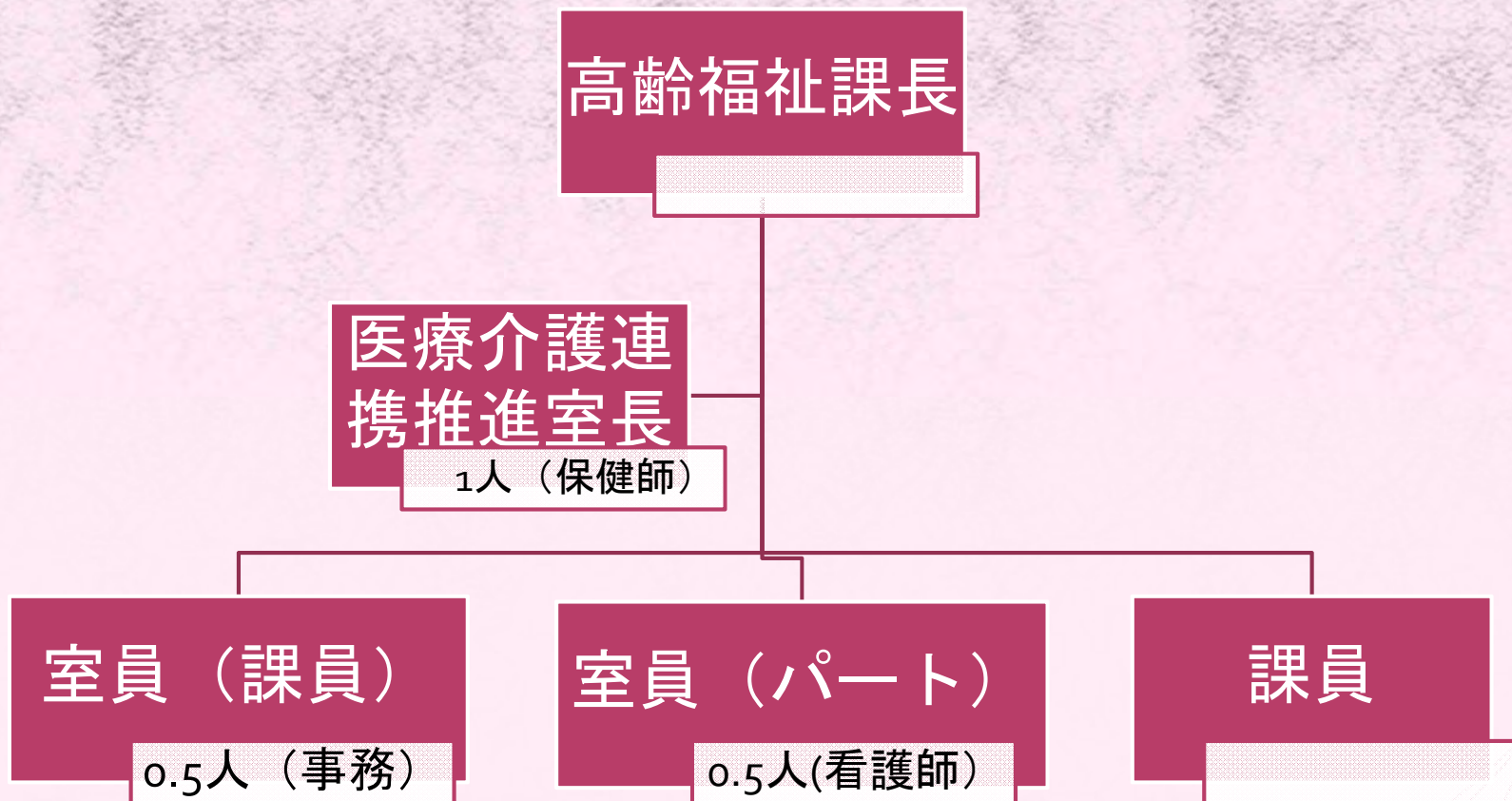


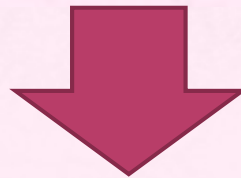
田原市の事業担当組織



今後地域包括ケアを考えると担当者の専任が必要。

田原市の現状と課題

- 医療機関の偏りと医師の高齢化が進んでいる。
- 介護認定疾病は認知症と高血圧がトップ。
- 持ち家が多くまた段差等が多い。
- 交通手段が少ない。高齢でも運転が必要。



- 医療と介護の連携・医師へのサポートは？
- 疾病の早期発見・治療・介護（本人・家族）予防の啓発は？
- 住宅改修の補助は？
- 医療機関への交通手段は？

地域の課題と解決策

● 今年度の対策 1

- 厳しい医療現状 (病院 1 施設のみ・開業医の高齢化や減少)



- 医療と介護の連携 (スムーズな対応で医療側の負担軽減)



- 連携推進の取組み (顔の見える関係づくり)



- 多職種連携会議 (研修会・GWの開催で質の向上と友好関係構築)

地域の顔の見える関係作り ～多職種連携から～

- 医療介護連携推進協議会の立上げ
- 各医療・介護関係機関への挨拶まわり
- 担当者会議の選択（月1回）
- タイムスケジュールの作成
- 課題発見のアンケート調査
- 多職種研修会等の開催（月1回以上開催）



- 素早く行動・関係づくりの訪問・会議の開催
- 情報の収集・看護職とケアマネの資格の強み

医療・介護連携推進協議会 (全体会議)



医療・介護連携推進担当者会議



多職種のグループワーク研修会



多職種合同研修会

